

- 記者発表資料 -

**「平成28年度 海洋・港湾技術の早期実用化に向けた実証試験」
報告会の開催について**

関東地方整備局では、海洋資源調査技術や港湾新技術の早期実用化を目指し、民間団体と連携し、当局の保有する京浜港ドック(長さ109m、幅25.5m、深さ5.5m)にて実証試験を行ったところです。

今般、同ドックを活用した平成28年度の実証試験の成果がまとまりましたので、産学官の情報共有を図る場として、標記報告会を開催します。

記

■日時:平成29年5月17日(水) 14:30~16:45(受付開始14:00)

■会場:横浜情報文化センター 6階 情文ホール

■内容・申込方法:別紙リーフレットと下記ホームページのとおり

< 関東地方整備局HP : <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/> >

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ
神奈川県政記者クラブ・横須賀市政記者クラブ・その他専門紙

お問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長

課長補佐

係長

さの ゆきほ
佐野 幸保
ねりお しんいちろう
練尾 伸一郎
すが たかし
菅 崇

電話 045-211-7420 FAX 045-211-0204

「平成28年度 海洋・港湾技術の早期 実用化に向けた実証試験」 報告会

**参加
無料**

※意見交換会は有料

- 日時：平成29年5月17日(水) 14:30～16:45
- 会場：横浜情報文化センター 6階 情文ホール
- 定員：200名（先着順、定員に達し次第締切らせて頂きます。）

○報告内容

14:00～	受付開始		
14:30～14:35	『開会の挨拶』	関東地方整備局 副局長	高田 昌行
14:35～14:40	『公募制度の説明』	関東地方整備局 海洋環境・技術課 課長	佐野 幸保
14:40～15:10	『航路啓開における測深・海底状況把握技術 (水中物体の位置と形状確認のための計測システムの運用)』	一般社団法人 海洋調査協会	長田 俊明
15:10～15:40	『航空レーザー測深機と水中点検ロボを組み合わせた海 洋・港湾における有用な調査技術の実証試験』	朝日航洋株式会社 東京空情支社 営業2部 公共グループ	竹田 勝利
15:40～16:10	『水中部のひび割れ補修に関する実証実験』	五洋建設株式会社 技術研究所	谷口 修
16:10～16:40	『水中i-Constructionのための水中ソナーによる出 来形管理の検証』	五洋建設株式会社 技術研究所	西畑 剛
16:40～16:45	『閉会の挨拶』	内閣府 SIPプログラムディレクター	浦辺 徹郎
17:00～18:30	意見交換会(会場：横浜情報文化ホール1階レストラン「ランチャン アヴェニュー」)		

※ 内容は一部変更する場合があります。

◇お申し込み

参加を希望される方は件名を「実証試験報告会
参加希望」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(Tel.)、
④意見交換会参加の有無をご記入の上メールにて
お申し込み下さい。

- ・申し込み締切：5月8日(月)
- ・申込先：pa.ktr-29houkokukai@ml.mlit.go.jp

◇お問い合わせ先

関東地方整備局 海洋環境・技術課 練尾、菅
TEL 045-211-7420

- ※ お申し込み時にいただいた個人情報は、本報告会以外の目的で利用することはありません。
- ※ 「意見交換会」は、港湾空港に関する研究についての情報交換をする場です。(参加費：3,000円)

主催：国土交通省 関東地方整備局

